

目次

序 荒川 創一 2

1章 達人が伝授するSTI診療の基本とコツ 荒川 創一, 尾上 泰彦, 古林 敬一 9

1 STI診療を取り巻く状況 —インターネット時代に医師が知っておくべきこと— 10

1. インターネット時代の患者さんの特徴 10

2. 自己検査・自己治療の可能性を常に忘れない 11

2 STIの特徴を踏まえた診療方針 13

3 STIに関する基本方針を実現するため、クリニックレベルで準備するもの 14

1. 必要なもの①顕微鏡とグラム染色液 14

2. 簡単グラム染色!バーミー法 15

3. 必要なもの②つまようじ 19

4. 必要なもの③点眼瓶と生理食塩水 19

コラム 内診台は必要か? 19

コラム グラム染色のトリビア 20

5. 必要なもの④拡大鏡 21

6. 必要なもの⑤参考書籍 22

4 問診 23

1. 問診の手順 23

2. 患者の思い込みに引きずられないためには 25

3. オーラルセックスの既往 26

4. 男性に対する問診の注意点 26

5 身体診察 27

1. 採尿はあとで 27

2. 陰部の診察手順 28

コラム 亀頭にカスが出ると 29

コラム CU(クラミジア性尿道炎)とGU(淋菌性尿道炎)の違い 30

3. オプショナルな診察 31

コラム 頸管粘液の性状から淋病がわかるか? 31

4. 咽頭検体 32

5. 女性の場合 32

コラム 咽頭・性器から見つかる髄膜炎菌について 33

6. マスクの必要性 35

コラム おぼえておきたい知識 35

6 検査 36

1. STI検査のジレンマ 36

2. 淋菌の培養 37

3. 郵送自己検査で「XX陽性」の結果を持ってきた場合 37

4. クラミジアの検査について 37

5. 近所の耳鼻科の先生と仲良くなるう 39

6. 鏡検を患者さんにも見てもらうことのメリット	39
7. 鏡検所見のカルテ記載	40
7 症状から診断へ	41
a 尿道炎・膀胱炎様の症状	41
1. 女性の膀胱炎症状ではSTIを鑑別にいれる	41
2. 尿道炎の定義	42
3. 尿道炎の原因微生物	43
4. 尿道炎を疑った場合の検査	43
5. 採尿について	44
6. 淋菌とクラミジアの同時検査	45
b 陰部が痒い	44
1. ケジラミ	46
2. 外陰部癢痒症	47
3. 亀頭炎(亀頭包皮皮炎)	48
4. カンジダ(訴えへの対応)	50
5. 子宮頸管炎	50
6. トリコモナス膣炎	50
c 帯下	51
1. 細菌性膣症	51
d 陰部周辺に発疹・きずができた	53
1. 非STI	53
2. STI	54
e 無症状	57
1. 無症状だがSTIが心配	57
2. 検査する意味の少ない検査	58
8 診察結果の説明	59
1. 診察結果の説明	59
2. パートナーの検査結果と食い違うとき	60
9 治療	62
1. 抗菌薬のネット購入	63
コラム 梅毒疑い患者への対応	63
2. 抗菌薬をほしがる患者さんへの対応	64
3. 使用中の薬を聞きとる	64
4. 腎機能の評価が必要な薬	65
5. 非淋菌性尿道炎(NGU)の治療	65
6. 尿道炎治療後も症状を訴える患者	66
7. 梅毒の治療中の一時的な潰瘍の増大	67
8. 治療経過が思わしくないとき	68
10 その他：患者からの質問に答える	69
1. 性器ヘルペスや尖圭コンジローマの感染性	69
2. どっちが先かの問題	70

A. 尿道炎・子宮頸管炎

1	尿道炎	74
2	子宮頸管炎	74
3	淋菌性尿道炎	75
	古林コラム 淋菌のグラム染色：読影のコツ	76
4	淋菌性子宮頸管炎	77
	参考 髄膜炎菌性尿道炎・子宮頸管炎	77
5	非淋菌性尿道炎	78
6	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	79
	参考 遭遇する主な病原微生物(頻度順)	79
7	クラミジア性尿道炎	80
8	クラミジア性子宮頸管炎	80
9	マイコプラズマ・ジェニタリウム性尿道炎	81
	Dr.荒川の早耳情報 マイコプラズマ・ジェニタリウムの検査薬が一步前進	81
10	ウレアプラズマ・ウレアリティカム性尿道炎	82
11	トリコモナス性尿道炎	83
12	トリコモナス性陰炎	83
13	アデノウイルス性尿道炎	84
14	単純ヘルペスウイルス(HSV)性尿道炎	85

B. 外陰部の発疹

1	梅毒	86
	古林コラム 梅毒用「新薬(旧薬?)」の発売	87
2	溶連菌性亀頭炎	88
3	溶連菌性外陰炎	88
4	性器ヘルペス	89
5	尖圭コンジローマ	89
6	陰部伝染性軟属腫	90
7	ケジラミ症	90
8	カンジダ性亀頭包皮皮炎	91
9	外陰部陰カンジダ症	91
10	細菌性陰症	92
11	陰部帯状疱疹	92
12	外陰部癢痒症	93

13	接触性亀頭包皮炎・外陰炎	93
14	陰茎モンドール病	94
15	陰部固定薬疹	94

3章 尾上アトラス

尾上 泰彦 95

A. 生理的狀態

1	Pearly penile papules	96
	参考 Vestibular papillae of the vulva (腔前庭乳頭腫症)	97
2	カウパー腺液	98
3	タイソン腺	99
4	Fordyce状態	100

B. STI

1	淋菌性尿道炎	101
	①男性発症例	101
	参考 淋菌性側管炎	102
	②女性発症例	103
	参考 淋菌性バルトリン腺炎	103
	参考 淋菌性子宮頸管炎	103
2	クラミジア性尿道炎	104
	参考 クラミジアと淋菌の膿汁の比較	105
	参考 咽頭所見：クラミジアも淋菌も非特異的で区別はつかない	105
	参考 クラミジア性子宮頸管炎	106
3	トリコモナス性尿道炎・腔炎	107
4	アデノウイルス性尿道炎	108
5	梅毒	109
	①早期梅毒第1期	109
	A. 初期硬結	109
	B. 硬性下疳	110
	C. 無痛性横痃	113
	②早期梅毒第2期	114
	A. 梅毒性バラ疹 (roseola syphilitica)	114
	参考 梅毒性乾癬	115
	B. 扁平コンジローマ	115
	C. 口腔粘膜疹 (butterfly appearance)	115
	尾上コラム わが国の市場からペニシリンG 筋注製剤が消えた理由	116
6	軟性下疳	117
7	性器ヘルペス	118
	①初感染・男性	118
	②初感染・女性	120

参考 Elsbeg 症候群	121
③再発・男性	121
④再発・女性	123
⑤性器外感染	124
8 尖圭コンジローマ	125
①男性発症例	125
②女性発症例	128
③肛門所見	129
参考 HPV感染による口腔内の乳頭腫	130
参考 Bowen 様丘疹症	131
参考 イミキモド(ベセルナ®) クリームの副作用	131
9 性器伝染性軟属腫	132
①男性発症例	132
②女性発症例	132
10 ケジラミ症	133
11 疥癬	135
C. STI関連疾患	
1 糖尿病性亀頭包皮炎	136
参考 その他の亀頭包皮炎	137
2 外陰部陰カンジダ症	138
3 陰部帯状疱疹	139
D. その他	
1 嵌頓包茎	140
2 陰茎縫線嚢腫	141
3 非性病性硬化性リンパ管炎	142
4 亀頭粘膜下血腫	143
5 陰部固定薬疹	144
6 精索静脈瘤	145
7 ベーチェット病	146

本書籍中の Web 動画の配信期間は、最終刷の年月日から逆算して 4 年間をめぐとします。ただし、予期しない事情により、その期間内でも配信を停止する可能性があります。なお、動画に関するサポートは行っておりません。ご了承ください。